

令和 7 年度 **地理総合＋地理探究** (01コア)

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いないように受験してください。

1. 試験開始の合図があるまで冊子を開かないでください。
2. この冊子には問題14ページ、記述による解答用紙2枚(そのⅠ・そのⅡ)がセットになっています。
3. 試験開始の合図があったら、問題のページ数を確認し、解答用紙をミシン目で折ってから冊子よりていねいに切り離し、すべての解答用紙に受験番号を記入してください。
4. 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
5. 解答用紙は、黒鉛筆(シャープペンシル可)のほか、黒・青の万年筆またはボールペンを使用してもかまいません。
6. 文字ははっきり、ていねいに書いてください。
7. 解答用紙の点数欄には何も記入しないでください。
8. 使用していない解答用紙は机の上に裏返しにしてください。

I 問1

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

I 問2

①	②	③
---	---	---

I 問3

(1)

--

(2)

--

(3)

--

そのⅠ計

小計

Ⅱ 問1

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦		

Ⅱ 問2

A	B
C	D

小計

Ⅲ 問1

①	②	③	④
---	---	---	---

Ⅲ 問2

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

Ⅲ 問3

--

Ⅲ 問4

①	②
---	---

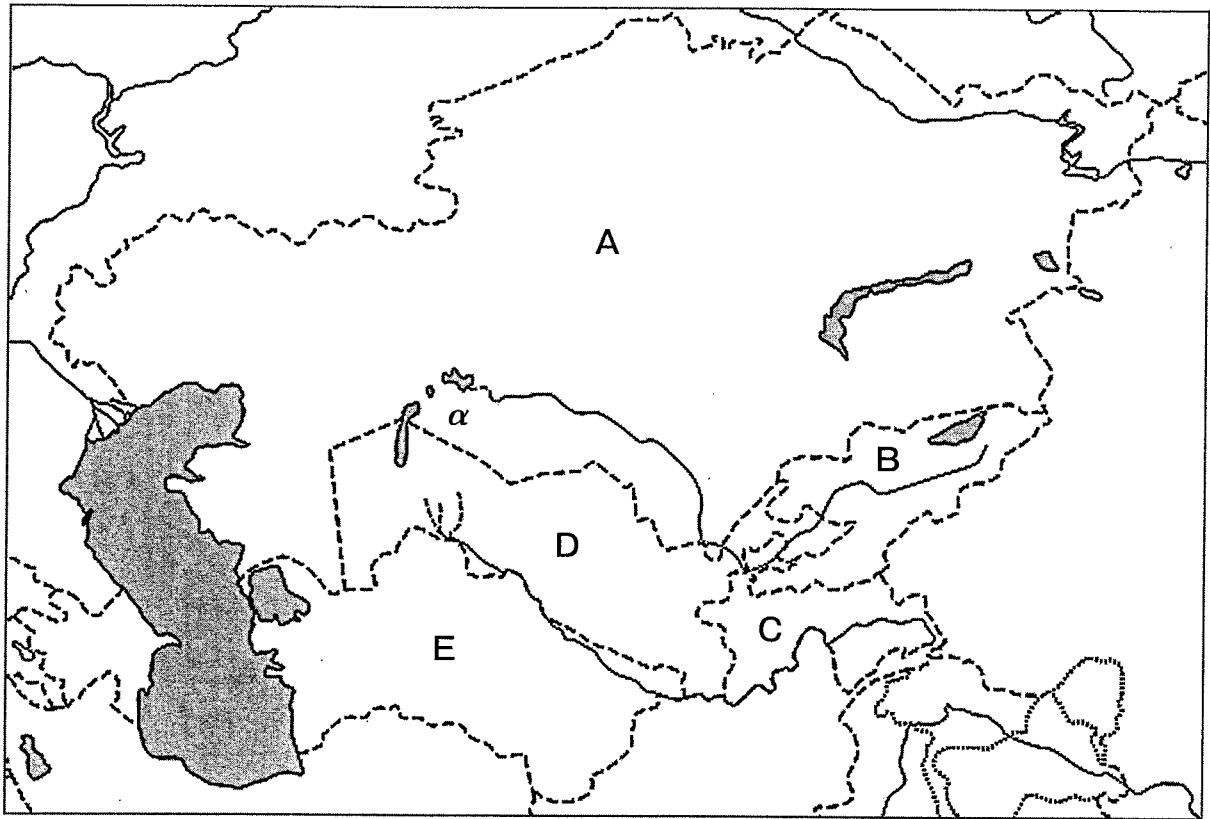
Ⅲ 問5

小計

--	--

問題は次のページより始まります。

I 次の地図を見て、以下の設問に答えなさい。(18点)



問1 地図中A～Eの国名を、次の あ～お よりそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。

あ：ウズベキスタン い：カザフスタン う：トルクメニスタン
え：タジキスタン お：キルギス

問 2 次の説明文①～③に該当する国を，地図中 A～E よりそれぞれ 1 つ選び，記号で答えなさい。

- ① 国土の大部分はカラクーム砂漠で占められている。天然ガス埋蔵量世界 4 位（2020 年），天然ガス輸出量世界 7 位（2020 年）の資源大国である。首都はアシガバット。
- ② 資源大国で，ウラン鉱は世界 1 位（2022 年），石炭は世界 8 位（2020 年），原油は世界 13 位（2021 年）の産出量を誇る。面積は世界 9 位で，西部から中央部にかけてステップが広がる。
- ③ 西部から中央部にかけてはキジルクーム砂漠が広がり，東部はパミール高原に続く山地になっている。灌漑されたオアシス地域では，綿花・ぶどう等が栽培されている。シルクロードの交易都市として栄えたフェルガナやサマルカンド，ブハラなどのオアシス都市がある。

問 3 地図中 α は，かつて世界で 4 番目に広い湖であったが，現在では縮小の一途をたどっている。地図中 α に関する以下の設問に答えなさい。

- (1) 地図中 α の湖名を答えなさい。
- (2) 地図中 α が縮小した理由を説明しなさい。
- (3) 地図中 α が縮小したことで，湖および周辺地域でどのような問題が起こっているかを説明しなさい。

Ⅱ 以下の設問に答えなさい。(18点)

問1 以下のS先生とGさんの会話文を読んで、文中の空欄（①）～（⑦）に適する語句を答えなさい。

S先生：

Gさん：

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

S先生：

Gさん：

S 先生：

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

G さん：

S 先生：

出典：日本経済新聞 2024年7月27日の新聞記事を一部改訂

問2 下の表は、2020年における国別二酸化炭素排出量を示したものである。表中のA～Dに適する国を、イギリス・サウジアラビア・南アフリカ・ロシアから選び、国名を答えなさい。

国別二酸化炭素排出量（2020年，CO₂換算）

IEA資料

国	二酸化炭素排出量（CO ₂ -百万トン）			
	固体燃料	液体燃料	気体燃料	合計（その他共）
A	322.9	59.0	4.2	386.2
B	21.0	127.9	146.2	300.5
C	414.5	293.6	807.7	1559.8
D	0.0	305.8	177.3	483.1

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド 2024年版』

Ⅲ 世界の食料生産に関する次の文章を読み、設問に答えなさい。(19点)

三大穀物と呼ばれる米や小麦、とうもろこしは多くの人が主食としており、私たちの食生活に欠かせないものである。地域によって主食が異なる要因の1つに気候条件が挙げられる。

米は、年間降水量が1000mm以上の地域、特に、田植え期に気温が高く雨が多い(①)気候での生産が盛んである。豊富な水が必要であることから、川や湖の近く、灌漑システムの整った地域で栽培される。水田は栄養分を含む水を浸すために連作障害を起こしにくく、毎年同じ水田で耕作が可能である。三大穀物の中では最も(②)に生産されているため、国際取引に回される比率は低くなっている。

小麦は、年間降水量が500～750mmの比較的冷涼・乾燥した地域で多く栽培されている。小麦には(③)と(④)がある。(③)は、春に種をまき、秋に収穫する。通常、亜寒帯(冷帯)気候地域で栽培される。(④)は、秋から冬にかけて種をまき、翌年の春から夏に収穫される。通常、半乾燥気候地域や温帯気候地域で栽培される。(③)と(④)は北半球と南半球でも栽培されているため、年間を通して収穫されている。米に比べて国際的な商品としての性格が強く、その生産動向は世界の貿易量に大きな影響を与えている。

とうもろこしは、熱帯から亜寒帯(冷帯)まで広く栽培されている。三大穀物の中で最も生産量が多い。近年、遺伝子組み換え技術や新しい栽培方法の導入などにより、米や小麦の生産量の伸びと比べて高い増加率を示す。とうもろこしの需要はX) 食用よりも飼料用の割合が大きい。また、2000年代以降、Y) バイオエタノールの原料としての需要も高まっている。

穀物は、多くの人々の生活の基盤となるために重要であるが、Z) 世界の穀物価格は様々な要因により高騰する。それにより、生活コストや生活費の上昇、栄養状態の悪化、社会不安の増加、貿易赤字の拡大など、人々や社会に大きな影響を与える場合がある。

問1 ①～④に最も該当する語句をそれぞれア～オの中から選び、記号で答えなさい。

① ア：西岸海洋性 イ：亜寒帯（冷帯） ウ：寒帯
エ：モンスーン オ：地中海性

② ア：自給的 イ：商業的 ウ：粗放的 エ：企業的 オ：近代的

③ ア：夏小麦 イ：冬小麦 ウ：春小麦 エ：秋小麦 オ：ライ麦

④ ア：夏小麦 イ：冬小麦 ウ：春小麦 エ：秋小麦 オ：ライ麦

問2 以下の表は、米、小麦、とうもろこし、大豆の輸出量上位5か国を示したものである。A～Eに該当する国名を以下のア～コより選び、記号で答えなさい。

米（2021年）

国名	輸出量（万トン）
インド	2103
A	607
ベトナム	464
パキスタン	393
B	284

小麦（2021年）

国名	輸出量（万トン）
ロシア	2737
C	2556
B	2401
カナダ	2155
D	1939

とうもろこし（2021年）

国名	輸出量（万トン）
B	7004
アルゼンチン	3691
D	2454
E	2043
ルーマニア	690

大豆（2021年）

国名	輸出量（万トン）
E	8611
B	5305
パラグアイ	633
カナダ	450
アルゼンチン	428

出典：『データブック オブ・ザ・ワールド2024年版』

ア：ナイジェリア イ：中国 ウ：スペイン エ：ウクライナ
 オ：アメリカ合衆国 カ：タイ キ：ブラジル ク：フランス
 ケ：オーストラリア コ：ミャンマー

問3 下線部X)について、とうもろこしを主食として食べる地域の1つであるメキシコにおいて、とうもろこしを粉にして練って、薄くのばして焼いた食べ物の名称を答えなさい。

問4 下線部Y)に関して、近年、バイオエタノールをはじめとしてバイオマス燃料が環境面から注目されている理由を説明した文章の(①)と(②)に該当する語句を答えなさい。

アメリカ合衆国ではとうもろこしが、ブラジルでは(①)がバイオエタノールの原料として多く使われている。これらバイオマス燃料も燃焼時に石油などの化石燃料と同じように二酸化炭素を排出するが、原料となる植物の成長過程において二酸化炭素を吸収しているため、燃焼時の二酸化炭素の排出量は差し引きゼロになると考えられている。こうした考え方は(②)と呼ばれている。

問5 下線部Z)に関して、穀物価格が上昇する要因として考えられるものを2つ答えなさい。

Ⅳ 世界の工業について以下の文章を読み、設問に答えなさい。(20点)

産業革命以降、イギリスをはじめ欧米における重工業の発展は、いずれも「(X) 型の工業立地」という点で共通する。すなわち、古期造山帯に属するイギリスのペニン山脈やアメリカ合衆国東部のアパラチア山脈周辺、ドイツ北西部ルール地方などで採掘される石炭と、それらの周辺で採掘される鉄鉱石が、輸送手段である水運によって結びつくことで重工業が発展したのである。

20世紀後半には、世界的に進行したエネルギー転換（革命）によって先進工業国の主な工業の中心地が臨海部に移行した。また、A) 当時の国際政治情勢を背景とした先端技術産業分野の発展とともに、アメリカ合衆国を中心に新たな工業集積地が次々と形成された。さらに、為替の変動や設備の老朽化、生産コストの上昇などから①近隣諸国への製造拠点の流出が相次いで国内産業の衰退が進んだ。特に、B) 先進工業国では従来の伝統的な工業地域が急速に衰退し、様々な都市問題が発生した。

一方、第二次大戦後に著しい経済発展を遂げた日本を除くアジアの多くの国々では、植民地時代から続く②一次産品の輸出に依存する経済構造からの脱却を図るべく工業化が進められたが、経済発展には結びつかなかった。しかしながら70年代に入ると、とりわけアジアや中南米諸国において先進国の企業向けの工業団地の造成が進められて (Y) 型工業の導入が進み、経済危機などによる一進一退を繰り返しつつ、各地で経済成長が続いている。

問1 文中の波線部①と波線部②を別の相応しい言葉に置き換えなさい。

問2 (1) 文中の空欄Xに適する語句を答え、その工業立地の型の特徴を50字以内で答えなさい。

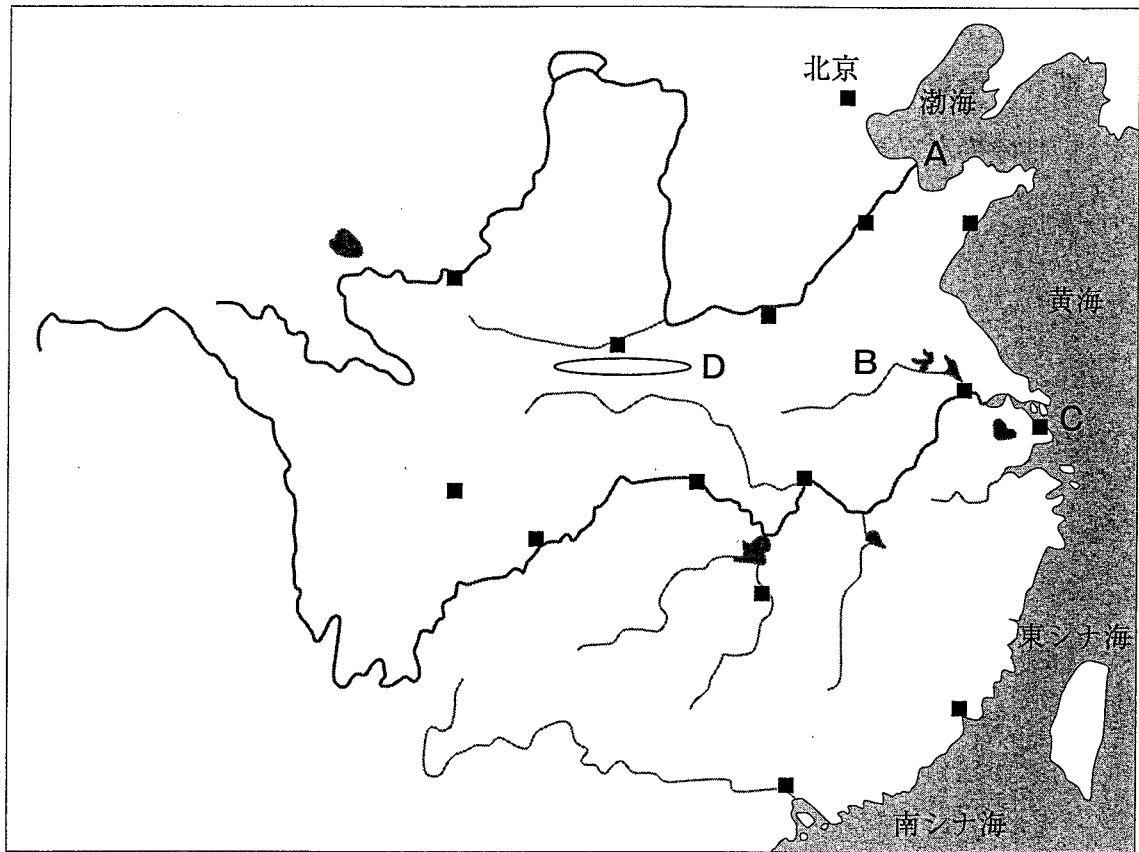
(2) 文中の空欄Yに該当する語句を下の枠内から選び答えなさい。

輸出指向 輸出代替 輸入指向 輸入代替

問3 文中に下線部Aで示した「当時の国際政治情勢を背景とした先端技術産業分野の発展」とは、具体的にどのようなことを指しているのか、解答用紙の枠内で答えなさい。

問4 文中の下線部B「先進工業国では従来の伝統的な工業地域が急速に衰退し、様々な都市問題が発生した」について、いくつかの欧米の伝統的な工業都市内部（とりわけ都心部）に生じた都市問題を、適当な用語を交えて解答用紙の枠内で答えなさい。

V 次の地図を見て、中華人民共和国に関する以下の設問に答えなさい。(20点)



問1 地図上のA，BおよびCの河川名，Dの山脈名を答えなさい。Dの範囲は大体の位置である。

問2 次の文章の(E)に該当する語句を答えなさい。

「河川Bと山脈Dに連なる区分線は年間降水量1000mmの線とほぼ一致しているが，この区分線は一般に『D-B線』と呼ばれ，その線より北側は降水量が少なく南側は多い。山脈Dの東側に(E)平原が広がる。」

問3 『D-B線』を境とする北側と南側の代表的な農産物をそれぞれ1つずつ答えなさい。

問4 『D-B線』を境とする北側と南側の自然災害の一般的傾向をそれぞれ答えなさい。

問5 中華人民共和国の河川にはダムが多く作られているが、その目的を解答用紙の枠内で答えなさい。

Ⅵ アメリカ合衆国における，ヒスパニックの人々の，分布や暮らしの特徴を解答用紙の枠内で答えなさい。(5点)